

各 位

2025 年 12 月 4 日  
株式会社インプレス

クリスマスの贈り物やご褒美読書に。心ときめく 150 色の色の知識と物語を収録した  
書籍『誰も知らない色の物語』が 12 月 4 日（木）に発売  
手のひらサイズの上製本シリーズ「Petit Dictionary」創刊

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、「眠れない夜を、ときめくひとときへ」をテーマにしたPetit Dictionary（プチディクショナリー）シリーズを創刊します。シリーズ第1弾として書籍『誰も知らない色の物語 色の美しい世界にときめき、知識が深まる本』を2025年12月4日（木）に発売いたします。



#### ■デジタル疲れの現代人に贈る「眠れない夜」をときめきに変えるシリーズを創刊

近年、Z世代を中心に、タイパ志向や常時接続のSNS疲れなどを理由に、フィルムカメラや文具など、「あえてアナログを楽しむ」という回帰現象が起きています。そんな中、デジタルから離れ、五感を刺激してくれるという理由から、装丁や紙の手触りといった「モノ」としての本独自の魅力を味わいながら、読書を楽しむ人が増えています。

「Petit Dictionaryシリーズ」は、そんなデジタルに疲れた現代人の心に寄り添う、「眠れない夜を、ときめくひとときへ」をテーマにした小さな本のシリーズです。スマホを置いてページを開けば、心ときめくデザインやイラストを楽しみながら、新しい知識に出会うことができます。小さな判型で、一つ一つのお話が短くまとまっているので、今の気分に合わせて好きなところから読んだり、たった数分だけでも読書時間に没頭できるようになっています。

ゴールドの箔が煌めくA6サイズの上製本は、まるで小さな洋書のように。読み物として楽しむだけでなく、

ベッドサイドに飾ればインテリアの一部として空間を彩る装丁となっています。自分自身へのご褒美に、あるいは大切な誰かの夜を照らすギフトとして。「眠れない夜」を「待ち遠しい夜」に変える、特別な一冊を刊行するシリーズです。このたび本シリーズ第1弾として『誰も知らない色の物語 色の美しい世界にときめき、知識が深まる本』を発売します。

## ■シリーズ第1弾のテーマは「色」。色に秘められたドラマチックな歴史や物語を紹介

誰もが知る「赤」「青」「緑」から、ロマンチックな名前を持つ色まで、普段何気なく見ている色には、その色名の由来、成り立ち、そして人々の感情が込められた物語が秘められています。本書は、そんな心惹かれる150色の物語を収録した、小さな知識と物語の本です。「勿忘草の色」の悲しい恋物語、騎士の守り色だった「ガーネット」、美女と野獣に登場した薔薇の「ピンク」……など、おとぎ話、花と草、宝石、神話などにまつわる、読むほどに色の世界にときめく物語を収録しています。美しい色の名前と、それにまつわる短編ストーリーを掲載しており、コーヒーや紅茶を飲みながら楽しむ、週末のご褒美読書にぴったりの一冊です。

## ■本書は以下のような方におすすめです

- ・色が持つ、名前の由来や歴史といった物語に惹かれる方
- ・心ときめく読書時間を過ごしたい方
- ・大切な人への贈り物として、おしゃれで素敵な書籍を探している方
- ・花、神話、童話に秘められた、色の知識や雑学を楽しく深めたい方
- ・創作やデザインのヒントになる、インスピレーションが欲しい方

## ■紙面イメージ



「Part1 色が紡ぐ物語」では赤・青・緑など、計11色別に色のイメージや成り立ちなどを紹介





Old Rose

## オールドローズ

Part2

Rose

## ローズ

薔薇に始まり、薔薇に終わる物語  
『美女と野獣』

フランスの古い物語『美女と野獣』は、薔薇が大好きな娘へのお土産にと、古城の庭の薔薇を何気なく摘み取った父が、恐ろしい野獣に囚われるところから始まります。身代わりとして古城へ向かった娘のベルは、やがて野獣の心に秘められた優しさに気づき、彼を愛するようになります。物語の鍵を握るのが、一輪の薔薇。野獣にかけられた呪いは「その薔薇がすべて散る前に、真実の愛を得ること」でした。ここで思い浮かぶのが、深みのあるくすんだピンク「オールドローズ」——孤独と絶望の中にも、わずかな希望を失わない、獣の心を映すような色です。英語の色名にオールド（old）が付く時には、呪いが解けて王子の姿に戻った野獣とベルを、庭に咲き誇る鮮やかな薔薇色「ローズ」が祝福します。恐れや誤解を超えて育まれた、深く揺るぎない愛の物語を象徴するような、ふたつの薔薇色です。

オールドローズ | C0 M50 Y23 K15 | #DA8D93

ローズ | C0 M87 Y45 K0 | #E83F5F

72

「Part2 おとぎ話」は、おとぎ話のワンシーンから連想できる色や、文学的表現として登場する色の物語を紹介



Forget-me-not

## フォゲット ミーノット

Part3

悲しい「恋の物語」を秘めたブルー

ほんのり紫みを帯びたやさしい青、「フォゲットミーノット（Forget-me-not）」は、「私を忘れないで」という切ない言葉、そのまな名に持つ花です。また、花の名がそのまま色名にもなっています。その名がついた背景には、ドイツに伝わる悲しい恋の物語があります。恋人と川辺を散歩していた騎士の青年は、水辺に咲く可憐な青い花を摘んで彼女に贈ろうとしますが、誤って足を滑らせ、そのまま激流に飲み込まれてしまいました。青年は最後の力を振り絞って「私を忘れないで！」（*Erstass mein nicht*）と叫びながら、その花を恋人に投げ渡したのです。それ以来、この花の花言葉は「私を忘れないで」「真実の愛」「誠実」となりました。フォゲットミーノットは、ドイツ語がそのまま英語に訳されたものです。日本語では「勿忘草色」ですが、これも明治時代の訳語です。悲しくも美しい、心に残るブルーです。

フォゲットミーノット | C48 M10 Y0 K0 | #89C3EB

118

「Part3 花と草」は花や草の名前が由来の色名にまつわる話



本書の目次。計150色の色の物語を収録

## ■本書の構成

- Part1 色が紡ぐ物語
- Part2 おとぎ話
- Part3 花と草
- Part4 宝石
- Part5 神話と歴史
- Part6 時と宙

## ■書誌情報



書名：誰も知らない色の物語

色の美しい世界にときめき、知識が深まる本

著者：桜井輝子

発売日：2025年12月4日（木）

ページ数：242ページ

サイズ：A6正寸

定価：2,200円（本体2,000円＋税10％）

電子版価格：2,200円（本体2,000円＋税10％）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02331-9

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295023310/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1125101023>

## ■著者プロフィール

桜井 輝子（さくらい てるこ）

東京カラーズ株式会社代表取締役・日本色彩学会正会員・Adobeことはじめクリエイティブカレッジ講師。カラーコーディネーターとして企業のカラーコンサルティングや研修、色彩教材の企画制作などを手掛ける。色彩学を楽しく理解し活用するための書籍を多数執筆。おもな著書に『配色アイデア手帖 めくって見つける新しいデザインの本』（SBクリエイティブ）などがある。

以上

---

### 【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: [pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。